

## 令和3年度 管理運営評価シート

施設名	ひょうご環境体験館	現指定管理期間	令和3年～7年(5年間)
指定管理者	(公財)ひょうご環境創造協会	選定方法	選定委員会

## 1 指定管理者による自己評価

評価項目		業務目標 (事業計画ベース)	実績・評価	指定 管理者	施設 所管課
維持 管理 業務	清掃	日常点検の実施 外部委託(清掃(週 5 回)、塵 芥処理(週 1 回)) エコハウス サポーターと職員による環境 整備作業(年 2 回)	来館者アンケートの施設全体 の満足度で回答者の 98.7%が 不満はないと評価され良好な 館内環境を維持できた。	◎	◎
	設備保守管理	日常点検及び定期点検の実 施。外部委託(電気・工作物 保守点検(6 回)、空調設備点 検(2 回)、排水再利用設備保 守点検(毎月 2 回)、給水設 備保守点検(1 回)、消防設備 保守点検(2 回))	高圧ケーブルの故障はあつ たが、職員による日常点検及 び委託業者による定期点検 を実施し、概ね安全・良好な 設備の維持管理ができた。	○	○
	植栽管理	エコハウスサポーターによる エコの森の整備(5 回)、花 壇・七草園の整備(4 回)、周 辺清掃 2 回)実施	自然観察プログラムの円滑 な実施ができるなど、施設周 辺の良好な自然環境を維持 できた。	◎	◎
	警備	外部委託業者による機械警 備の実施(毎日) 退庁時の 施錠確認や不審者対応によ り事故・盗難の発生の未然防 止の取組	年間を通して、事故・事件の 発生を防止できた。	◎	◎
	小規模修繕	高圧ケーブル更新・進入路路 肩改修・雨漏り修繕・丸棒階 段修理・排水再利用設備(膜 吸引ポンプ・V ベルト給水用 電動弁・循環ポンプの取替 等)の修繕を実施	高圧ケーブルの故障箇所の 発見から迅速な工事発注・修 繕実施に努めた結果、1日閉 館となったが館業務の影響 は少なかった。	○	○
	法定点検の実施	外部委託(電気・工作物保守 点検(6 回)、排水再利用設備 保守点検(毎月 2 回)、給水 設備保守点検(1 回)、消防設 備保守点検(2 回))、建物定 期点検	有資格者である専門業者に 委託することにより、適正な 点検を実施できた。	◎	◎

評価項目		業務目標 (事業計画ベース)	実績・評価	指定 管理者	施設 所管課
運営業務	開館日・開館時間等	【開館日・開館時間】 休日：月曜日（祝日なら翌日）、12/31、1/1 （新型コロナウイルス感染拡大防止対策に係る閉館期間を除く） 開館時間：午前 10 時～午後 5 時	新型コロナウイルス感染拡大防止対策に係る閉館期間を除けば計画どおりに開館し、県民ニーズに沿った各種体験事業の充実に努めた。	◎	◎
	公共性・公平性の確保	県下幼保・小・中・高校・公民館・教育委員会・近隣施設等へチラシを配布 新聞・地域広報紙、テレビ、ラジオ、ホームページ、メールマガジン、フェイスブック等で施設案内や利用案内を公表	広域的なチラシ配布や地元メディア、ホームページの活用、地域関係機関等との連携等、積極的な広報活動に努めたことにより、新規の団体利用が増えた。	◎	◎
	各種事業・プログラムの実施状況	環境学習事業（基本プログラム：75 団体、2,625 人／ 特別プログラム：88 回、2,294 人）情報発信事業（HP アクセス数、299,668 件）	事業計画に即した環境学習プログラムの実施や自主開催による研修会、セミナー等の開催により県民の施設利用促進につながった。	◎	◎
	利用者満足度調査結果 (アンケート調査)	調査実施回数：随時 実施時期：随時 実施方法：アンケート用紙 調査結果の概要： アンケートにおいて、「満足」と回答した人の割合 ・環境プログラム 95.4% (全回答 520 名中「大変満足」「やや満足」が 496 名) ・施設全体 88.4% (全回答 528 名中「大変満足」「やや満足」が 497 名) 調査の集計結果：別添のとおり	利用者からは高い評価を得ており、優れた内容の事業・プログラムを提供できた。	◎	◎
利用状況	利用者数	来館者数：6,239 人(昨年度：3,336 人) 利用者数：8,669 人(昨年度：4,727 人)	R3 年度は新型コロナウイルス感染症の影響があるもののプログラムの実施(88 回)、学校による環境学習の再開により回復傾向にある。	○	○
	施設稼働率	【R3 年度稼働率】 95.2% (実動日数 296 日/稼働予定日数 311 日) 【前年度稼働率】 53.4% (実動日数 166 日/稼働予定日数 311 日)	年度初めに緊急事態宣言が発令され、県の方針により 4 月下旬から5月上旬に休館。12 月に高圧ケーブルによる停電が発生。ケーブルの交換工事のため 1 日閉館。(12/18)	○	○

評価項目		業務目標 (事業計画ベース)	実績・評価	指定 管理者	施設 所管課
収支状況	収支計画と実績	収入の部：指定管理料 32,971,000 円 その他収入 713,945 円(参加料等)、6,296,961 円(協会自主財源) 支出の部：管理運営費 39,981,906 円	協会自主財源により、新規プログラムの開発を実施した。	◎	◎
	経費節減に向けた取組	職員、エコハウスサポーター(ボランティア)による草刈り、階段・側溝の整備等の実施	職員やサポーターを活用することにより、小規模修繕費の削減を実施した。	◎	◎
運営体制	苦情要望等の対応体制・内容	高齢者や足の不自由な方からの送迎要望(駐車場、体験館)など、利用者へ臨機応変に迅速かつ適切に対応	職員対応への苦情はなく、来館者アンケートでは 100%が不満はないと回答している。	◎	◎
	危機管理体制の確保	マニュアル及び緊急連絡表の見直し 施設賠償保険等への加入 防災避難訓練、救急対応訓練の実施	緊急時における迅速かつ適切な対応ができようマニュアルを整備した。 スタッフ全員に対する防災教育及び防災訓練を実施した。(7/1、12/13)	◎	◎
	県・関係機関との連携	利用者数等、利用状況の月例報告を実施 リニューアル工事にかかる実施設計から完成確認まで、随時調整会議を実施	コロナウイルスの影響により、県関連イベントの出展は減少したが、リニューアル工事については、県の改修方針の意向を確認し細部に渡る調整を繰り返し、工事を完結した。	◎	◎
	業務の再委託の状況	該当なし	該当なし		

## 2 総合的な自己評価・来年度の取組目標・課題等について

アンケートにおいて、全回答数 528 名のうち 98.7%の利用者が施設全体について不満はない(「大変満足」309+「やや満足」158+「普通」54=521名)と回答していることから、適切な管理、運営ができているものとする。

また、テーマ別の環境プログラムやエコイベントの実施など、利用者数増加に向けた魅力的で特色ある企画を立案・拡充している。

今後も外部有識者による運営委員会の意見等を反映した、効率的な運営に努めるとともに、積極的な広報活動を展開したい。

## 令和3年度 総合評価シート

評価者：環境部環境政策課

施設名	ひょうご環境体験館	現指定管理期間	令和3年～7年(5年間)
指定管理者	(公財)ひょうご環境創造協会	選定方法	公募による選定

## 1 指定管理者の業務実績に関する評価

魅力的なイベント等の企画の立案や拡充など、利用者増加に向けての工夫がされている。  
また、外部有識者による運営委員会の意見等を反映し、効率的な運営に努めている。

## 2 業務改善に向けた分析・指導内容

## &lt;維持管理業務&gt;

○ エコハウスサポーター（ボランティアスタッフ）の協力を得て施設周辺の環境美化を図るなど、経費を削減するとともに、適切な管理ができていることは評価できる。

## &lt;運営業務&gt;

○ 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行った上で、屋外での自然観察や、館内でのリサイクル工作など、環境学習プログラムの充実に努めたことは評価できる。さらに、環境学習プログラム内容について個人参加者（94.0%）、団体利用者（98.0%）から「満足」との回答を得られており、高く評価できる。

○ プログラムの予約方法が電話のみであり、参加者、参加見込み者のニーズに十分応えられているとは言えない状況であるため、今後、他の予約方法について検討する必要がある。

## &lt;利用状況&gt;

○ 利用者は8,669人と目標（32,000人）を大幅に下回ったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための休館等や外部イベント縮小及び中止によるものであり、やむをえないものと考えている。

## &lt;総合評価&gt;

○ アンケート結果によると、個々の項目（展示見学コースの内容、職員・スタッフの応対等）について、概ね高い満足度を得ていることに加え、施設全体についても98.7%の利用者から不満はないとの回答を得ており、高く評価できる。

## 3 施設所管課による総合評価

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
A				

総合評価指標（管理運営評価シートの施設所管課による評価結果を基準とする）

S	◎が80%超である
A	◎が60%超80%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
B	◎が60%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
C	△と×の合計が20%超40%以下である
D	△と×の合計が40%超である